

小学校名：中央区立月島第三小学校 所在地：中央区晴海1-4-1

校長：小野内 雄三

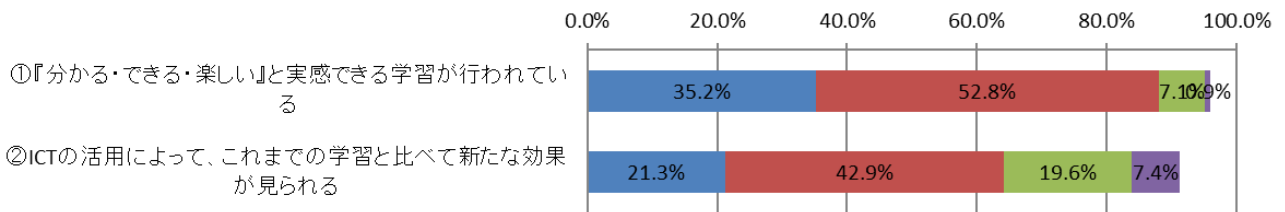
児童数：979名 学級数：30学級 教職員数：38名 (R5.2.1現在)

**1 重点目標の達成状況及び取組状況【保護者回答数 352、教職員回答数 33】**

**【保護者】**

**重点目標1（基礎学力の定着と学力の向上を図る）**

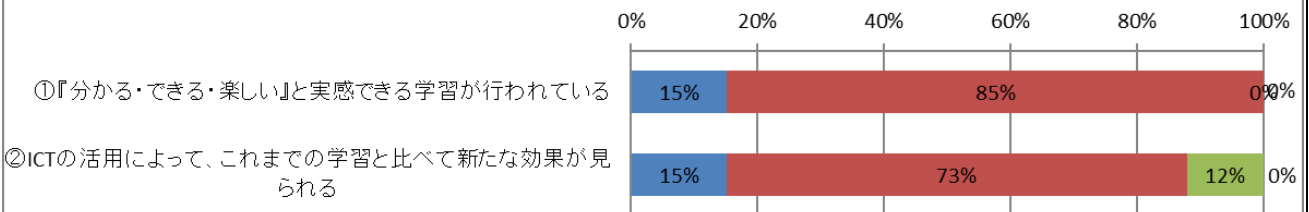
■ 十分達成している ■ 達成している ■ 改善を要する ■ 緊急に改善を要する



**【教職員】**

**重点目標1（基礎学力の定着と学力の向上を図る）**

■ 十分達成している ■ 達成している ■ 改善を要する ■ 緊急に改善を要する



**重点目標1「基礎学力の定着と学力の向上を図る」**

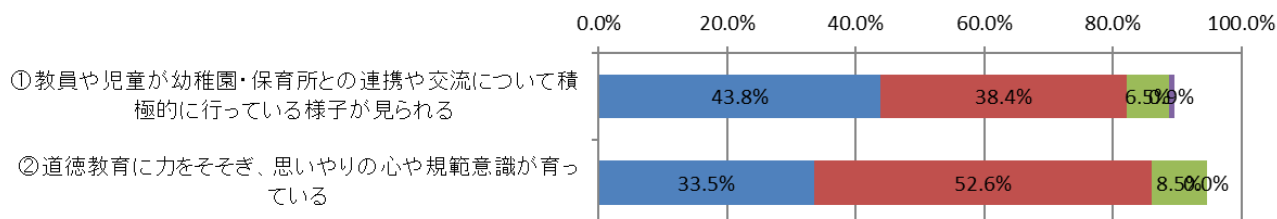
「『分かる・できる・楽しい』と実感できる学習が行われている」の項目について「十分達成している」「達成している」が保護者88%であった。朝学習では、基礎基本の定着を目指した計算・漢字練習や読書を行ってきた。また、子どもたちが分かる・できる・楽しいと実感できる授業を行うため、その時間のめあてを明確にし、自分の考えをもつ時間をしっかり確保し、考えをより深めたり、広げたり、活かしたりする話し合い活動を行ってきた。学校公開では、参観する回数や時間も少なく、これらのような教育活動を伝える場が少なかった。その様子が保護者に伝わるようにclassroomを活用するなど工夫をしていきたい。

「ICTの活用によって、これまでの学習と比べて新たな効果が見られる」の項目について「十分達成している」「達成している」が保護者64.2%、教員88%であった。ICTを活用した学習については、タブレット端末を活用した授業を日々検討し、授業に工夫を凝らしている。また、児童もタブレット端末を活用した話し合いや発表資料を作成するなど学習の広がり、深まりが見られており、学習への意欲は見られている。保護者に対して、タブレットを活用した授業を多く紹介し、その効果を発信していく必要性を感じている。

## 【保護者】

### 重点目標2（共に生きる力を育てる）

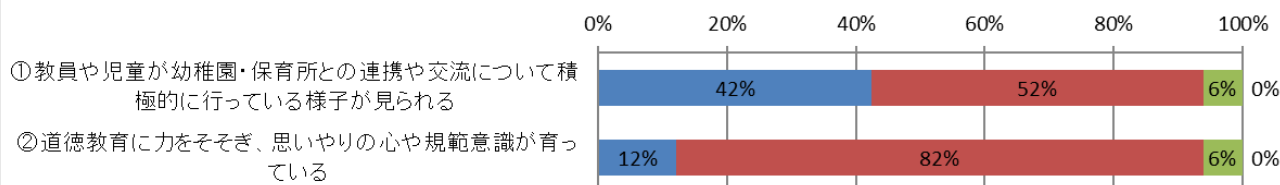
■ 十分に達成している ■ 達成している ■ 改善を要する ■ 緊急に改善を要する



## 【教職員】

### 重点目標2（共に生きる力を育てる）

■ 十分に達成している ■ 達成している ■ 改善を要する ■ 緊急に改善を要する



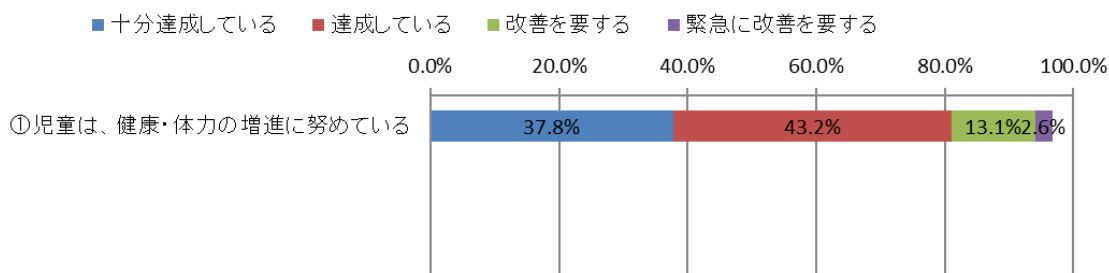
### 重点目標2の「共に生きる力を育てる」

「教員や児童が幼稚園・保育所との連携や交流について積極的に行っている様子が見られる」の項目について「十分に達成している」「達成している」が保護者 82.2%、教員 94%であった。昨年度保護者評価は 65%であったので、改善されている。児童は、1年生と5年生が幼稚園・保育所と交流をしている。また、教員は年4回幼稚園・保育所と連携を行っており、授業参観や保育所見学、情報交換を行い、園児がスムーズに小学校生活になじむように連携を強化している。本校園の研究であった幼小9年間の接続について深化させ、保護者・地域に発信していくようにする。

「道徳教育に力をそそぎ、思いやりの心や規範意識が育っている」の評価が「十分に達成している」「達成している」が保護者 86.1%。教員 94%であった。一定の評価を得たと考えている。決まり・ルールの徹底をし、さらに実践力を身に付けるために、道徳の授業と日々の生活を関連付けるとともに、教育活動全体で指導をしていかなければならない。また、登校・下校時の交通ルールや放課後の遊び方について課題が多いため、次年度は重点的に指導をする。次年度以降も意図的・計画的に思いやりの心を育む指導や規範意識を育てる指導を行う。

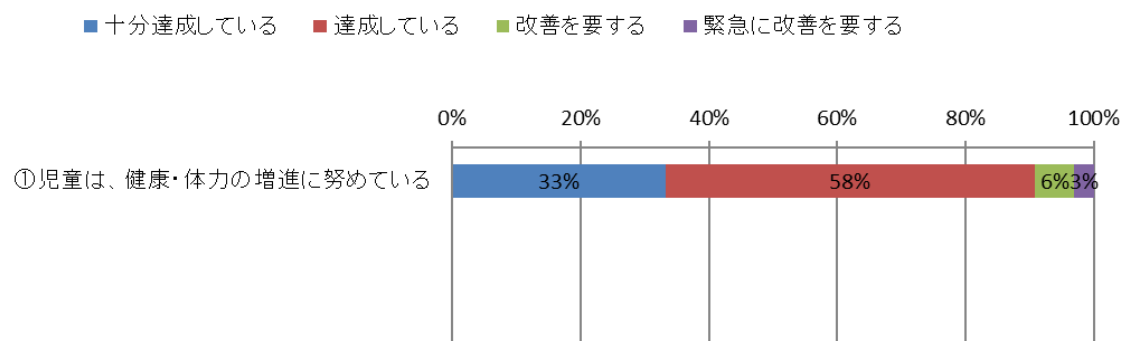
## 【保護者】

### 重点目標3（健康な体と体力の向上を図る）



## 【教職員】

### 重点目標3（健康な体と体力の向上を図る）



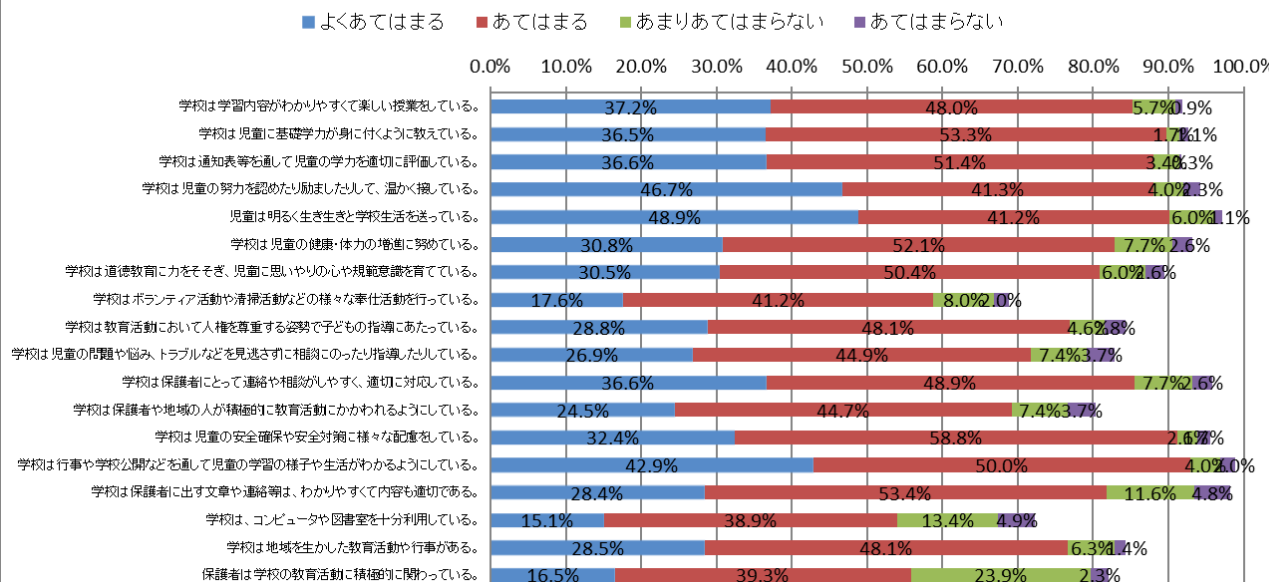
### 重点目標3「健康な体と体力の向上を図る」

「児童は、健康・体力の増進に努めている」の項目について「十分達成している」「達成している」が81%、教員91%の評価であった。昨年度の保護者評価は67%であったため、改善されている。児童数の増加もあり、校庭や体育館など現在の環境の中、体育や休み時間の運動量の確保が課題となっている。今年度は、なわとびギネスチャレンジを行い、縄跳びに取り組む機会が多かった。次年度も、なわとびを重点的に取り組み、体力向上を図る上でも、年間計画に位置付けていくようにする。

## 2 全体の評価における達成状況及び取組状況

### 【保護者】

#### 令和4年度 保護者アンケート達成状況(全体評価)



全ての項目で「よくあてはまる」「あてはまる」の回答が18項目中11項目で概ね80%を越えている。本校の教育活動について多くの保護者は肯定的に理解していただいていることが分かる。今年度も、保護者が学校に関わることが非常に少なかったため、回答しづらい項目もあり、十分な評価を得られていない面もある。教育活動の発信方法についてclassroomやHPをさらに活用していく。

「児童は明るく生き生きと学校生活を送っている」の項目では、肯定的な意見が90%の評価となっている。コロナ禍の中ではあるもの子どもたちが楽しく学校に通っていると感じている保護者が多い。

学習面に関連する項目の「学校は学習内容がわかりやすく楽しい授業をしている」「学校は児童に基礎学力が身に付くように教えている。」「学校は通知表等を通して児童の学力を適切に評価している」「学校は児童の努力を認めたり励ましたりして、温かく接している」については「よくあてはまる」「あてはまる」と回答した保護者が85～90%と、教員の授業内容、基礎学力の定着、適切な評価について十分理解を得られている。コロナ禍において、学習活動に制限があることがあっても、教員が指導計画を組み直し、基礎基本の定着を図ってきた結果と考える。

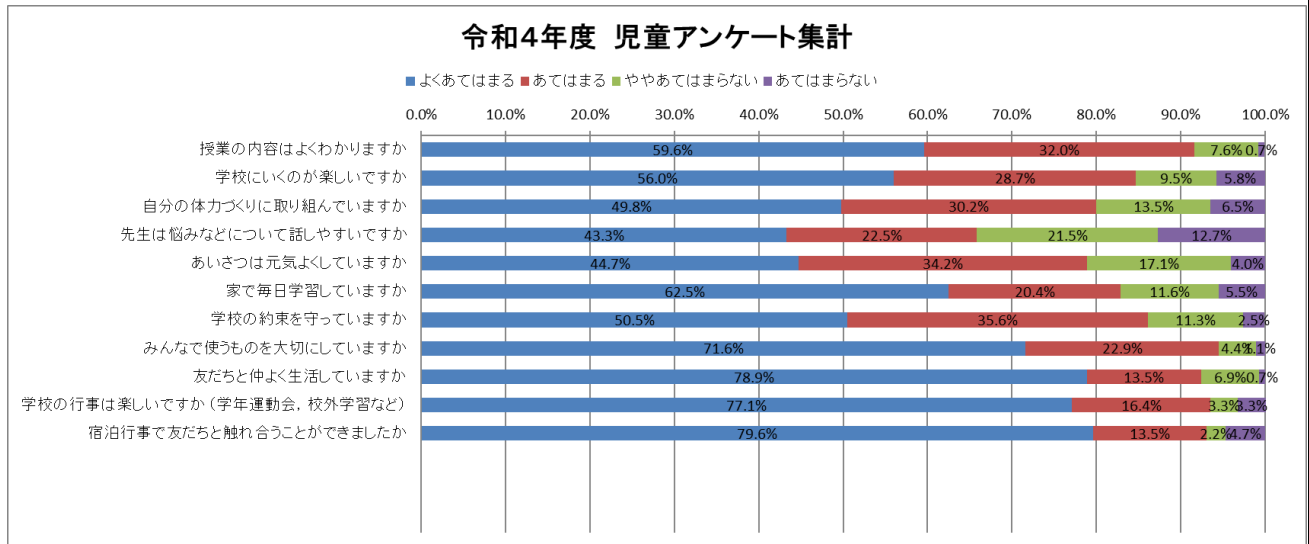
「学校は保護者にとって連絡や相談がしやすく、適切に対応している」の肯定的な回答は85.5%と一定の評価を得たと考えているが、「学校は児童の問題や悩み、トラブルなどを見逃さずに相談ののったり指導したりしている」の肯定的な回答は71.8%であった。今後も学校と保護者が連携をとり、解決に至るまで、児童・保護者に寄り添っていくようにしなければならない。また、児童の人権に配慮し、いじめの未然防止や早期発見、不登校対策、児童虐待の防止等、教員個人の力に頼った教育ではなく、関係諸機関と連携し組織的に対応できるようにする。

「学校は、コンピュータや図書室を十分利用している」の肯定的な回答は、53%程度となっている。この項目については、タブレットや図書室を活用し、効果的な学習を行っているかという内容であるが、回答しづらい項目であると考え。図書室は週1時間利用できるよう時間割に組み入れているが、児童

数増加のため、難しい状況である。

ボランティア活動、地域活動等人との関わりに関する項目について、肯定的な意見が少なかった。取組がほとんどない状況である。来年度も、新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、交流活動を検討する。

### 【児童】（4～6年）



11項目中9項目について「よくあてはまる」「あてはまる」という評価が80%以上であった。全体的に達成度や満足度が高かったことが分かる。

特に「授業の内容はよくわかりますか」については91%近くが「よい」と評価している。昨年度は95%近くだったため、若干評価が下がっている。朝学習では、基礎基本の問題に取り組んだり、ICTを活用した授業で興味関心を引き付け、意欲的に取り組んだりする学習行っている。達成感や満足感を得て、自信をつけ、今後も「わかる、できる、楽しい」授業をめざしていきたいと考える。また、「みんなで使うものを大切にしていますか」「友だちと仲良く生活をしていますか」「学校の行事は楽しいですか」「宿泊行事で友だちと触れ合うことができましたか」では、「よい」と評価が90%を超えている。今年度は、感染防止対策を十分に行い、少しずつではあるが行事も増えている。また、宿泊行事も例年通り実施することができた。学校での生活に子どもたちは期待していることが分かった。

「自分の体力づくりに取り組んでいますか」の項目では、肯定的な回答が80%であった。昨年度は75%であったので、改善されている。今年度は、縄跳びギネスチャレンジの取組もあり、1学期から縄跳びを継続してきた。来年度も、本校のマイスクールスポーツとして、さらに工夫して取り組んでいきたい。

「先生は悩みなどについて話しやすいか」の項目では、肯定的な回答が65%であった。例年、高学年になるにつれて、そのような傾向になっている。担任だけでなく、同学年や専科、スクールカウンセラーなど、全教員で話しやすい雰囲気を作ることや一人一人の様子を観察することを行い、悩み等あった場合、しっかりと児童の話を聞いて問題解決を図る事を通して、話して良かったと子どもが思うよう信頼関係を築いていけるようにする。